補正予算審査特別委員会

◇開催日　9月9日
◇委員長　三田　俊司
◇副委員長　林　まい子
◇委員数　18人
（正副議長を除く）
◇審査結果　各会計とも原案可決

各会派の主な質疑（質疑順に掲載）

みらいネットワーク

質問　介護事業所支援給付金事業について、実態把握と現場からの声は。

答弁　支援に関する声があり、令和7年度実績と国の臨時交付金等を活用し計上した。

質問　ごみ処理費について、①8年度の委託単価が当初より上昇しているが、9年度の予算について、考えは。②7年度のプラスチックごみが、6年度と比べ減った理由は。

答弁　①適正な単価を十分研究したい。②市民の一つひとつの行動が減量につながったと捉えている。

質問　プレミアム付デジタル商品券発行事業について、利用困難な方への対策は。

答弁　市民対象の説明会等の実施やコールセンターを設け、対応していく。

公明党昭島市議団

質問　市役所本庁舎やアキシマエンシスに授乳室を設置しているが、今後、親子で訪れる施設などへ設置する考えは。

答弁　子育て世代にとって使いやすい施設となるよう、ニーズ等を捉えながら検討していく。

質問　公共施設整備等資金積立基金について、①実質収支の2分の1の積み立てを計上した理由は。②基金が積み立てられる一方で、学童クラブ整備事業費は減額となっている。学校と学童クラブの施設の管理にあたり、将来的に施設の統合や多機能化に取り組む考えは。

答弁　①昨今の労務単価上昇や物価高騰が工事費に与える影響は著しく、今後の財政負担は非常に大きいものと想定して計上した。②庁内連携の下、中長期的な視点を持ち、学校と他の公共施設の複合化・集約化といった視点を踏まえた検討が必要であると捉えている。

質問　プレミアム付商品券発行事業について、紙の商品券ではなく、キャッシュレス決済を活用したデジタル商品券とした理由は。

答弁　既存のデジタル商品券のスキームを利用することにより、事務費や事務負担を抑え、迅速な事業実施ができるためである。

無会派

質問　プレミアム付デジタル商品券発行事業について、誰も取り残さないように実施する考えは。

答弁　デジタルに触れる機会となることが期待できる事業であると考える。説明会の実施やコールセンターの設置により支援していく。

質問　民生費における過年度返還金が3億1千470万1千円となっているが、子育て支援や障害者施策などに活用できなかったのか。

答弁　市民サービスの抑制ではなく、補助金等の交付を受けた各種事業費の確定による精算額である。

自由民主党昭島市議団

質問　財政について、①繰越金が約23億円となっており、税収が増え財政運営が順調であるが、市税の増が影響しているのか。②今後もマンションや戸建て住宅が増え税収増が見込まれるが、令和9年度の予算編成について、考えは。

答弁　①個人市民税と法人市民税がともに増となっており、大きな要因であると捉えている。②物価高騰等に対応する中、市税の動向を見極めた上で予算編成を行っていく。

質問　ごみの指定収集袋について、①インク等の価格高騰により、外装袋を2色刷りにするなどの仕様の変更はあるのか。②買い占めは起きているか。③作成費が30％上乗せされてしまうものが対象となるのか。

答弁　①仕様の変更はない。②不足の報道も落ち着きを見せ、現在は滞りなく配送できているため、不足が生じている報告は受けていない。③8年度作成するものが対象である。

質問　事業者支援給付金について、申請から給付決定まで、どの程度の期間を見込んでいるか。

答弁　8年12月頃からの申請を見込んでおり、年度内には完結できるように実施していく。

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団

質問　学童クラブについて、①中神学童クラブの改修工事内容は。②改修による定員数の増はあるのか。③トイレの整備について、考えは。

答弁　①トイレやエアコン等の改修を予定している。②定員数の変更はない。③洋式化などを積極的に推進していく。

質問　中東情勢の影響により、ごみの指定収集袋が供給不足となった場合の対応は。

答弁　最終的にはレジ袋での対応も検討していく。

質問　事業者支援給付金について、①対象企業の条件は。②幅広い事業者に利用してもらうための対策は。

答弁　①緊急対策事業資金融資のスキームを準用していく。②商工会の会報や金融機関の協力を得て周知していく。

質問　プレミアム付デジタル商品券発行事業について、相談会の開催場所や時期は。

答弁　イーストテラス・サブスリーなどの市内の施設で、事業実施予定の12月1日前後に開催予定である。

日本共産党昭島市議団

質問　実質収支から各種基金に法定額を4億921万1千円上回る額を積み立てているが、具体的な算出根拠は示されていない。物価高騰対策として、市民や事業者への追加支援を拡充すべき。

答弁　財政需要全般を見通す中、今必要な措置を行った上で将来の行財政運営に備えるという考えである。

質問　各種基金の積み立て額が総合基本計画の前期目標を上回っているが、物価高騰対策の財源は十分にあるのでは。

答弁　目標額は達成見込みであるが、今後の財政需要を推計する中では基金の積み立ては十分とは言えない。

質問　物価高騰対策における障害福祉サービス事業所等への支援事業について、事業者の意向を確認する等、令和7年度からの変更点は。

答弁　補助申請に係る事務負担の軽減を図るべく8年度は給付金として実施する。

質問　中小企業の賃上げを促進するため、必要経費を補助していく考えは。

答弁　一時的な効果ではなく、課題解決となる実情に即した支援策を検討していく。

2面下段より

賛成

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団
八田　一彦　議員

小学校の早朝見守り事業や移動児童館、水道料金・下水道使用料の減免など、市民の声や社会環境の変化を捉え、具体的な施策として実現したものについては、評価したい。

一方で、学童クラブの待機児童対策はスピード感を持った対応が必要であり、スポーツ施設についても、市民の声を受け止め中長期的な計画の中で整備を具体化するなど、決算審査で明らかになった課題を、翌年度以降の施策や予算編成に確実につなげていくことを求める。

限られた財源を有効に活用しながら、市民の声を政策として形にすることを求め、本決算に賛成する。

みらいネットワーク
林　まい子　議員

気候市民会議や特別支援教育に関する講演会開催を評価する。一方で、市職員の職場環境改善、GLP昭島プロジェクトによる環境影響対策、横田基地におけるPFAS問題やオスプレイ問題の抜本的改善、安心して暮らすための住居確保、障害者福祉サービスの移動支援事業における賃上げや制限撤廃、がん検診の周知、不登校支援対策や通学時の移動支援などの更なる取り組みを求める。

本市のまちづくりの理念である「人間尊重」「環境との共生」を基本とし、市民とともに持続可能なまちづくりを常に試行錯誤していくことを求め、本決算に賛成する。

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団
八田　一彦　議員

食費無償化事業、また、水道料金・下水道使用料減免事業など、市民生活の向上や物価高騰対策等、総合的な観点から非常に評価できる内容である。

今後も財政健全化に努め、住み続けたいまち昭島の構築を更に加速させるべく尽力していくことを望み、本決算に賛成する。

予算の補正状況

一般会計（第１号）

当初予算	576億　円
今回補正額	23億4480万　円
予算総額	599億4480万　円

国民健康保険特別会計（第１号）

当初予算	117億9057万　円
今回補正額	3億3235万8千円
予算総額	121億2292万8千円

介護保険特別会計（第１号）

当初予算	107億　349万　円
今回補正額	2億5853万4千円
予算総額	109億6202万4千円

後期高齢者医療特別会計（第１号）

当初予算	35億5019万　円
今回補正額	4841万6千円
予算総額	35億9860万6千円

中神土地区画整理事業特別会計（第１号）

当初予算	3億1860万2千円
今回補正額	187万3千円
予算総額	3億2047万5千円

中神駅北側地域整備事業特別会計（第１号）

当初予算	12億2000万3千円
今回補正額	3337万7千円
予算総額	12億5338万　円

熊本地震に伴う災害に対しての支援

○義援金を送金しました

昭島市議会は9月25日に、義援金20万円（議員一人あたり1万円）を九州市議会議長会（九州市議会議長会　災害義援金口座）へ送金しました。